

ご挨拶

代表取締役 安田英男



岐阜県各務原市の歯科技工所アルファ工房でございます。当社は1992年より義歯製作主体のラボとして出発致しました。これまで22年間「**つくりたいのは笑顔です**」をキャッチフレーズに地域の歯科医院様とともに研鑽を積んで参りましたが、このたび当技工所をもっと知って頂きたいと考えアルファ工房ニュースと題しまして、当技工所より歯科医院様にいろいろな情報をお知らせして参ります。新しい製品の情報やチェアサイドでお役に立てる技工のコツなどをご紹介していく予定です。

今号からは金属の研磨について連載していきますが、こんな情報を載せてほしいなどの先生方からのアイデアやアドバイスなどどしどしお寄せ頂けると幸いです。

アルファ工房はこれからも、歯科医院様とともに患者様のお口の健康に寄与して参ります。

アルファ工房 スタッフ紹介

営業部 打田達也



平成44年8月4日生まれ 43歳

このたびアルファ工房の営業部に着任致しました打田達也です。

技工所での仕事は初めての経験ですが、21年間歯科材料商に勤務しておりましたのでクラウンを口腔内に装着するためのセメントや印象材についての何らかのご提案ができましたらと思っております。これまでおつきあいのある医院様はもちろんのこと、一人でも多くの先生方と患者様のお口の健康に寄与できることを目指してガンバリます。

どうぞよろしくお願い致します！

連載：技工のヒント

～研磨のコツ その1～

一口に研磨と言っても、金属、レジンでは異なります。また金属には金パラジウム銀合金、金合金、ジルコニア、チタンなど様々な金属があり、それぞれその研磨方法も異なります。

今回は先生方が最も使われる通称、金パラについて技工所で使っている研磨道具や研磨材についてご紹介します。

先生方、ご存知のように金パラに限らず研磨の目的は①プラークの付着防止②腐食の防止③触覚による異物感の防止④口腔組織の機械的損傷の防止 などです。通常の手順として铸造後に酸処理をおこなったのち、形態修正、咬合調整→荒研磨→中研磨→仕上げ研磨→つや出しの行程を経る訳です。この行程は、言ってみればより小さい傷を幾重にも付けることにより大きい傷を消すということになります。

歯科医院でもっとポピュラーなメタルマテリアルである金パラジウム銀合金で作製された補綴物はカーボランダムポイントでの調整が主になるとは思いますが、その後の最も効率的な研磨方法はシャープミニなどのペーパーポイントで丹念に使用して頂き傷をなくすることです。その過程を怠らなければ、シリコンポイントの使用過程はごく短時間で終わります。**そのときのコツとして最低3つの方向（なるべく多方向）から、ポイントを滑らせてください。**傷で傷を消す作業なのであります。

アルファ工房 技工物紹介

3M社 Lava Ultimate
(ラヴァ アルティメット)



今回は3M社のラヴァ アルティメットをご紹介します。

近來、歯科業界におきましてCAD/CAMによる歯冠修復の進化は目覚ましく、また精度だけでなく材料となるブロックも進化しております。

本製品は従来の製品に比べ、より歯質に近い物性を有しておりインプラントの上部構造としても適していると考えております。

従来のレジン系の製品の弱点であった表面の滑沢性の持続についても長期間持続することが出来ますので、変色やプラーク付着に対しても良好な結果が得られると思っております。

破折などのトラブルに対し5年間のメーカー保証もありますので、ぜひ臨床に加えて頂ければと思っております。

ご質問やお見積などは担当者にお申し出ください。